

「先物取引研究」著者紹介

●龍田 節（たつた みさお）：京都大学大学院法学研究科 教授

1933生まれ。京都大学法学部卒業。京都大学法学部教授を経て、現在京都大学大学院法学研究科教授。

〈主な著書・論文〉

「商品取引所法上の取引資格」『商品取引所論体系』8巻第Ⅱ部第1章（全国商品取引所連合会、1994年）、「逐条商品取引所法」（共編著・商事法務研究会、1995年）、「商品先物の一任勘定取引」『商品取引所論体系』9巻第Ⅱ部第1章（全国商品取引所連合会、1996年）。

●高橋 弘（たかはし ひろむ）：近畿大学商経学部 教授

1928年生まれ。同志社大学商学部卒業。大阪証券取引所調査部、大阪証券代行株式会社常務取締役を経て、現在近畿大学商経学部教授。

〈主な著書・論文〉

「イギリスの先物・オプション市場」（東洋経済新報社、1988年）、「アメリカの先物・オプション市場」（東洋経済新報社、1992年）、「入門 先物・オプション市場の仕組みと取引の実際」（編著・東洋経済新報社、1995年）。

●森本 滋（もりもと しげる）：京都大学大学院法学研究科 教授

1946生まれ。京都大学法学部卒業。京都大学法学部教授を経て、現在京都大学大学院法学研究科教授。

〈主な著書・論文〉

「逐条商品取引所法」（共著・商事法務研究会、1995年）。

●山田 廣己（やまだ ひろみ）：京都産業大学法学部 教授

1951年生まれ。金沢大学法学部卒業。京都大学大学院博士課程単位取得。京都産業大学法学部専任講師、助教授を経て、現在京都産業大学法学部教授。

〈主な著書・論文〉

「会社法」（共著・現代青林講義、1995年）、「逐条商品取引所法」（共著・商事法務研究会、1995年）、「論説 米国商品取引所法の詐欺禁止規定4b条」『先物取引研究』第1巻第1号（日本商品取引員協会、1995年）。

●杉浦 市郎（すぎうら いちろう）：愛知大学法学部 教授

1951年生まれ。京都大学法学部卒業。京都大学大学院博士課程単位取得。愛知大学法学部助教授を経て、現在愛知大学法学部教授。

〈主な著書・論文〉

「逐条商品取引所法」(共著・商事法務研究会、1995年)。

●前田 雅弘(まえだ まさひろ): 京都大学大学院法学研究科 教授

1958年生まれ。京都大学法学部卒業。京都大学大学院博士課程単位取得。京都大学法学部助教授、京都大学大学院法学研究科助教授を経て、現在京都大学大学院法学研究科教授。

〈主な著書・論文〉

「証券業者のディーラー業務と投資者保護」『証券取引における自己責任原則と投資者保護』(日本経済新聞社、1996年)、「自己株式取得とインサイダー取引規制」『法学論叢』140巻5 = 6号(1997年)。

●山村 裕三(やまむら ゆうぞう): 大阪商品取引所新規商品開発室 次長

1947年生まれ。大阪化学繊維取引所、大阪繊維取引所勤務を経て、現在大阪商品取引所新規商品開発室次長。

●神崎 克郎(かざき かつろう): 神戸大学法学部 教授

1937年生まれ。神戸大学法学部卒業。最高裁判所司法研究所勤務、神戸大学法学部助手、助教授を経て、現在神戸大学法学部教授。

〈主な著書・論文〉

「商品先物取引と委託者保護」『金融法の課題と展望』(1990年)、「証券・商品取引の勧誘とブローカーの責任」『消費者法講座』第6巻(1991年)、「逐条商品取引所法」(共著・商事法務研究会、1995年)。

●石田 喜久夫(いしだ きくお): 京都学園大学大学院法学研究科 教授

1928年生まれ。大阪大学法経学部卒業。神戸大学法学部教授、京都学園大学法学部教授を経て、現在京都学園大学大学院法学研究科教授。

〈主な著書・論文〉

「逐条商品取引所法」(共著・商事法務研究会、1995年)。

●河本 一郎(かわもと いちろう): 神戸学院大学法学部 教授

1923年生まれ。京都大学法学部卒業。神戸大学法学部教授を経て、現在神戸大学名誉教授、神戸学院大学法学部教授、弁護士。

〈主な著書・論文〉

「証券取引法－転換期の市場・制度・企業－」(共著・日本経済新聞社、1987年)、「現代会社法(新訂第5版)」(商事法務研究会、1991年)、「証券取引法読本」(共著・有斐閣、1993年)。

●川濱 昇（かわはま のぼる）：京都大学大学院法学研究科 教授

1959年生まれ。京都大学法学部卒業。京都大学大学院博士課程単位取得。京都大学法学部助手、助教授を経て、現在京都大学大学院法学研究科教授。

●杉江 雅彦（すぎえ まさひこ）：同志社大学商学部 教授

1931年生まれ。同志社大学大学院商学研究科修士課程修了。日本証券経済研究所大阪研究所勤務、同志社大学講師を経て、現在同志社大学商学部教授。

〈主な著書・論文〉

「商品取引員の経営」『商品取引所論体系』8巻第1部第3章（全国商品取引所連合会、1994年）、「商品取引員の経営問題（続）」『商品取引所論体系』9巻第1部第3章（全国商品取引所連合会、1996年）。

●笹川 俊彦（ささがわ としひこ）：弁護士

1935年生まれ。関西大学法学部卒業。現在大阪商品取引所紛争仲介委員会委員長、笹川法律事務所弁護士。

〈主な著書・論文〉

「逐条商品取引所法」（共著・商事法務研究会、1995年）。

●秋葉 弘哉（あきば ひろや）：早稲田大学政治経済学部 教授

1945年生まれ。ニューヨーク州立大学大学院工芸科学科Ph. D.。拓殖大学政経学部講師、助教授、新潟大学経済学部教授、ハーバード大学客員研究員を経て、現在早稲田大学政治経済学部教授。

〈主な著書・論文〉

「購買力平価と為替レート」（文眞堂、1984年）。

●Ronald Britto（ロナルド・ブリットー）：ニューヨーク州立大学 教授

1937年生まれ。ブラウン大学大学院Ph. D.。タフツ大学、カリフォルニア大学ロサンゼルス校を経て、現在ニューヨーク州立大学教授。

●渡辺 太治（わたなべ たいじ）：ニューヨーク州立大学経済学部 非常勤講師兼研究員

1958年生まれ。ニューヨーク州立大学大学院経済学部博士課程修了。株式会社エース交易経済研究員を経て、現在ニューヨーク州立大学経済学部非常勤講師兼研究員。

〈主な著書・論文〉

「日米先物商品市場の価格予知能力の実証研究」（Economics Department Seminar、1990年）、「単一約定とザラバ取引に於ける価格変動率に関する日米先物市場の研究」（Journal of Finance、1991年）。

●池本 正純（いけもと まさずみ）：専修大学経営学部 教授

1946年生まれ。一橋大学大学院経済学研究科修了。専修大学経営学部専任講師、助教授を経て、現在専修大学経営学部教授。

〈主な著書・論文〉

「企業とは何か」（有斐閣、1984年）、「市場メカニズムと取引コスト」『専修大学社会科学年報』第20号（1986年）、「企業経済学の展望－ビジネスの基礎理論としての経済学の構想」『戦後日本の企業経営と経営学』第5章（専修大学経営学部編、1994年）。

●河村 幹夫（かわむら みきお）：多摩大学経営情報学部 教授

1935年生まれ。一橋大学経済学部卒業。三菱商事株式会社取締役、顧問を経て、現在多摩大学経営情報学部教授。

〈主な著書・論文〉

「商品先物取引の世界」（共著・東洋経済新報社、1983年）、「ザ・シカゴ・マーケット」（東京布井出版、1984年）、「商学総論」（共著・晃洋書房、1991年）、「経済探検 物語で読む先物取引」（日本経済新聞社、1993年）、「先物探偵術」（同朋舎、1997年）。

注）なお、上記略歴の一部は、研究調査助成金申請時のものを使用しております。